

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年9月16日	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	増原 完治
レジメン名	イリノテカン単剤(子宮頸がん・卵巣がん)(アプレピタントカプセル)		
疾患名	子宮頸がん・卵巣がん		
適応分類		適応の備考	
1コース日数	28	日間	総コース数
		有効な限り	コース
		催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日 イリノテカン100mg/m ² day1.8.15			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキサート注1.65mg	3 本 / body	30 分	●																											
2	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																											
	点滴静注	イリノテカン注	100 mg / m ²	90 分	●																											
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
	点滴静注		/																													
4	経口投与	アプレピタントカプセル	125 mg / body		●																											
	抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用																															
5	経口投与	アプレピタントカプセル	80 mg / body			●	●																									
	分1午前中に服用																															
8	経口投与	デカドロン錠	4 mg / body			●	●	●																								
	分2朝昼食後																															

【投与上の注意】

- ・day1のデキサート注は、3.3mgでもよい。
- ・day2～4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。
- ・デキサメタゾンを積極的に利用できない場合は、デキサメタゾン2～4日間の代わりに5-HT3受容体拮抗薬2～4日間を追加する。
- アプレピタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
- アプレピタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
- アプレピタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。